

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金						
現金	現金手許有高		運転資金として			484,757
普通預金	横浜銀行反町支店他		運転資金として			73,292,850
			小計			73,777,607
事業未収金	施設利用者他		特定費用3月分他			3,046,467
未収補助金	神奈川県保連他		自立支援給付費2,3月分他			28,673,418
立替金	法人事業所		事業所間立替金			272,798
前払費用	不動産賃貸人他		賃貸料4月分			3,606,833
徴収不能引当金	法人事業所		将来における徴収不能に備えての引当金			-600,000
	流動資産合計			0	0	108,777,123
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
定期預金	横浜信用金庫反町支店他		法人設立時の基本金他			15,270,000
			小計			15,270,000
	基本財産合計			0	0	15,270,000
<b>(2) その他の固定資産</b>						
車輛運搬具	日産キャラバン 他3台		送迎及び就労支援事業等に使用	8,923,360	5,857,537	3,065,823
器具及び備品	テント 他38台		サービス提供等に使用	10,982,664	8,472,154	2,510,510
人件費積立資産	定期預金 横浜銀行反町支店		将来における人件費支出が困難になった場合の補填の目的のために積み立てている定期預金	0	0	9,988,000
修繕費積立資産	定期預金 横浜銀行反町支店		将来における修繕費支出が困難になった場合の補填の目的のために積み立てている定期預金			47,581,000
			小計			47,581,000
備品等購入積立資産	定期預金 横浜銀行反町支店		将来における備品等購入支出が困難になった場合の補填の目的のために積み立てている定期預金			1,500,000
工賃変動積立資産	定期預金 横浜銀行反町支店		将来における工賃支出が困難になった場合の補填の目的のために積み立てている定期預金			1,056,510
差入保証金	不動産賃貸人		不動産敷金			10,647,600
	その他の固定資産合計			21,598,024	16,021,691	76,349,443
	固定資産合計			21,598,024	16,021,691	91,619,443
	資産合計			21,598,024	16,021,691	200,396,566
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
事業未払金	社会保険料他					4,308,370
預り金	カーテンリース料					39,240
職員預り金	社会保険料、雇用保険料					3,161,807
賞与引当金	12月～3月分					5,750,920
	流動負債合計			0	0	13,260,337
<b>2 固定負債</b>						
	固定負債合計			0	0	
	負債合計			0	0	13,260,337
	差引純資産			21,598,024	16,021,691	187,136,229

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・使用目的等欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産及び各負債の使用目的を簡潔に記載すること。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意すること。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当しえるものと、該当しえないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、合計欄を設けて、貸借対照表価額と一致させるものとする。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載すること。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）についてのみ「減価償却累計額」欄に記載すること。
- ・車両運搬具の○○には会社名と車種を記載すること。車両ナンバーは任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。
- ・負債については、使用目的等の欄の記載を要しない。